



問題3

入院時の看護

□□□

解法の要点

解説

入院時の患者に対する看護師の対応として誤っているのはどれか。

1. 視覚障害のある患者に対し、一緒に歩きながら病棟内の構造を説明する。
2. 排泄への不安がある高齢患者に、入院前と同様に夜間ポータブルトイレを使用できることを説明した。
3. 入院時の患者の状態が悪い際は、患者の状態が落ち着くのを十分に待ってから、緊急連絡先を聴取する。
4. 右半身不完全麻痺で杖を使用している患者に、左側のスペースが広くとれるようにベッドを配置する。

II-9Bd

入院時の患者は治療や検査だけでなく、病院環境への不安も抱いている。入院時の患者に対する看護師の対応としては、不安なく安全に入院生活が送れるように援助することが重要である。

- 1 視覚障害者は、目印となるものを触って確認しながら説明を聞くと、病院内の構造を把握しやすく、安全に入院生活が送ることができる。したがって、トイレや洗面所などの位置とその目印となるものを**実際に歩いて触って案内する**。
- 2 特に高齢者は入院による環境の変化に対する不安が大きく、またその不安はせん妄のリスクにもなり得る。この患者は排泄への不安を訴えているため、**今までどおり自分で排泄できるよう環境を調整**し、不安の軽減を図る。病室もトイレの近くにするなどの配慮をすることが望ましい。
- ×3 患者の状態が悪い場合こそ、急変や治療や処置の変更・追加、状態説明など緊急連絡が必要となることがあるため、緊急時連絡先は入院時早急に**本人**または**家族**から聴取する。
- 4 右半身不完全麻痺の場合、健側の左側を起点に乗り降りできるベッドであると患者にとって移乗動作がしやすい。したがって**ベッド左側**のスペースが広く乗り降りできるような配置とする。

正解 3